

千草子る

題字 原あやめ

自分に水をやる



千草会会長
百田 富美子

暑い日々が続いておりますが、皆様元気に過ごしのことと存じます。

本学は来年初九十周年を迎えます。時代は刻々と変化していますが、どのようにつながってきたか、また今後どのようにいかないのかを同窓生の皆様とともに考える機会に出来たらと思います。

今回は心に残った本『自分に水をやる—心が渴いてしまう前に読む、はぐくみの言葉—』の中からいくつかの言葉を紹介したいと思います。この本の著者五島瑳智子先生には、東邦医大病院に勤務されていた時にお目にかかりましたが、背筋がピンとしていて素晴らしい笑顔の方でした。

「環境が良くなると人間の質も向上するのは確かなこと」

家の中をきちんと整えて暮らし、身なりを清潔にし、家族にも朝夕の挨拶を欠かさず、節度と気品をもって暮らしていれば、人として一級。

何かを叶えたいと強く願っている時には、精神的にも物理的にもすべて片づけて、すっきりとそのことだけを見つめられる環境を作りましょう。

「どんなに困難な時期でも自分自身で前進する心と勇気を」

色々なことがうまくいかなくても言い訳を並べ



30

年号

目次

- 千草会会長挨拶 1頁
- 在校生より 2頁
- 卒業生だより 3頁
- 山協ニュース 4・5頁
- 研修旅行／会計報告／就職 6頁
- 学校案内 7頁
- お知らせ／講師・教職員異動報告
／千草会役員 8頁

立てて納得し、進むことをやめてはいけません。未来に向けて自我を育てること、本物を見極める力を養うことをやめてはいけません。自分を動かすのは自分の力で。「どちらかを選ぶのではなく『一番大切なこと』を選びます」

人生を広く見渡し未来を思い描きましょう。最終的に何が一番したいことなのか、そのために今何をするべきなのか、どうやればそれを現実に実行できるのかを一生懸命考えましょう。

子供、家族、自分、そして仕事。時によって大切なことへの比重のかけ方を上手に配分すれば、必ず道は開けます。

先生はこの本で、日頃から自分で学び、自分で感覚を磨き、自分で考えて判断し、真摯に生きることを奨めておられると思います。

やがて平成も終わろうとしていますが、新元号元年の十一月二日に九十周年の祝賀会が開かれます。今後とも本学の発展と千草会にご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



1947~1955 駿台校舎



1956~1972 市ヶ谷校舎の前身



《1年》
長島 耀
ながしま ひかる

ビジュアルデザイン科

Visual design

山脇の入学当初は、普通科の高校を卒業した自分がついていけるのだろうかという不安もありました。しかしそれ以上に、自分のずっとやりたかったことに、とことん打ち込むことができる喜びと期待がありました。中々思った通りにいかず難しいことも沢山ありますが、先生や先輩方が相談に乗って下さったり、クラスの友人と助け合いながら乗り越えられると、凄く達成感を得ることが出来ます。そして同時に、自分の知識やスキルがまた一つ増えていく事に、今はとても感動しています。

特にパソコンの授業では操作が難しい部分もありますが、演習を重ねるうちに知らぬ間に身につけていて、もっと色々な表現が出来るようになりたい、次も頑張ろうという気持ちになります。その様な気持ちになれるのはやはり学習環境が良いからではないかと思っています。

今では生活にもすっかり慣れ、当初思っていた不安も全くなく、自分らしくのびのびと授業に打ち込んでいると思います。

目の前の事に一生懸命取り組み、一つでも多く自分の武器となるものを身に付けていきたいです。



静物着彩「スニーカー」



《2年》
小尾 直輝
おひ なおき

スペースデザイン科

Space design

山脇に入学して早くも二年目を迎え、課題に追われながらも有意義な生活を送っています。入学当初は建築に対する考え方も曖昧でぼんやりとしていましたが、一年間学んできて少しずつではあるものの、自分の建築に対する考え方が明確になったように感じます。日々の授業の中で多くの先生方から自分の中にはなかった新しい考え方や知識を教えて頂き、一年間勉強して現在は当たり前のように理解できるまで大きく成長できた一年だったと思います。課題を進める中で自分が思いもしなかった発見やクラスメイトの考えているプランなど一人ひとり全く違う様々な考え方に触れ驚きもあり、面白いとも思いました。クラスメイトがいるからこそ成長していけると思っています。

山脇での生活もまだ一年しか経っておらず残り二年もあります。卒業までにまだ自分が知らない知識や考え方をより多く吸収して社会に出ても通用する大人になりたいと思います。

学校の中で学ぶことが全てではないので社会に出てから学び続けてちょっと名のある建築家になれるよう頑張ります。



進級制作「階段に住む」



《3年》
楮 健好
ちゅ けんこう

ジュエリーデザイン科

Jewelry design

入学した初めの時は、留学生でもあり、道具の名前も分からずに不安な気持ちを抱えていました。山脇での学生生活も二年が経ち、色々な授業で制作していく内に、現在では心にも少し余裕が生まれ、ジュエリーの勉強にも集中できるようになりました。

ジュエリー制作を学ぶために、この学校を選びました。最も良かったのは授業内容の幅広さ、課題制作ごとに挑戦ができる事です。授業で学んだ事を自分の身に付け、徐々に成長していけると考えたからです。

卒業後は台湾での就職を考えています。春休みには台湾へ戻り、台湾のジュエリー業界の事をよく調べ、そして石留め職人の工房へ技術を学びに行きました。元々石が好きですが、この経験を通して石留めの楽しさを更に感じました。山脇で学んだことを深めていき、将来に活用したいと思っています。

学生生活、日本での残りの時間を充実させて過ごしたいと思っています。



進級制作「Luster」

卒業生だより



ビジュアルデザイン科【2007年卒業】

江尻 侑代

ikuyo ejiri

株式会社 ピーシーデザイン
商品企画

▶ 自社オリジナルの商品企画・デザイン・開発を担当しています。シリコンがまぐちPOCHIは私が入社して間もない頃に発案・デザインしたものです。今ではアイテム数も増え日本のみならず海外でも販売されています。雑貨店だけでなく、NYのMoMAのミュージアムショップでも取り扱われています。それまで、シリコンで作られたがまぐちは世界のどこにもなく、参考見本になるものは無かったので、試行錯誤を繰り返し、開発に1年半ほど費やしてようやく理想のカタチのころんとしたシリコンがまぐちが完成。たくさんの人が、喜んだり楽しくなるような商品を販売できるよう、これからもがんばります。



スペースデザイン科【2001年卒業】

今井 俊文

toshifumi imai

株式会社 TOTAL RANGE
クリエイティブディレクター／代表取締役

▶ 独立起業して約4年が経ちます。仕事では主に、店舗やオフィスの内装デザインから設計、施工管理までを手掛けています。仕事でいちばん醍醐味を感じるのは、やはり自分のデザインや設計をクライアントに提案するとき。手応えのある反応があればうれしいですし、新たな課題が出てくれば、さらなる挑戦に燃えてきます。私が仕事でこだわっているのは、デザインや設計だけに留まらず、施工管理まで一貫して行うこと。なので完成したとき、自信を持ってクライアントにお見せすることができます。今まで築き上げた人とのネットワークを大事にしながら、これからもいろいろな案件を手掛けていきたいです。



ジュエリーデザイン科【2013年卒業】

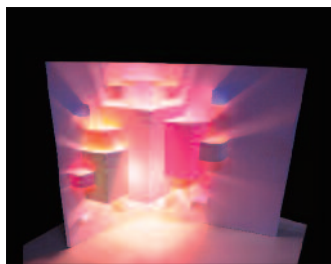
板野 竜也

ryuya itano

株式会社 ダイアート三枝
クラフトマン

▶ 仕事では、店頭に並ぶ商品のもとになる原型を制作しています。作家からあがってきたデザイン画をカタチにするのですが、なかなか作家のイメージ通りにできないこともあり、うまくできたときはすごく達成感があります。ベテランの上司の方は、デザイン画を受け取った瞬間にすでに頭の中にあらゆる角度からの完成形ができ上がるようで、自分も早くそうなれるよう、がんばりたいです。昨年は、国家資格である貴金属装身具製作技能士1級に挑戦。合格することができ、クラフトマンとしてさらなる一歩を踏み出しました。ぜひ、一人でも多くの方に、ジュエリーをつくる楽しさに触れてほしいですね。

第1回 『アカリ・イメージ
コンペティション』にて、ス
ペースデザイン科3年生の古川唯
さんがデザイン・制作した照明が
優秀賞を受賞しました。受賞作品
は昨年、東京ビックサイトにて行
われた「JAPANTECH2017」の会
場内に展示されました。



【優秀賞】スペースデザイン科 3年次 古川 唯

この公募展は、日本のジュエリーの最高峰を決めるべく毎年開催
されているジュエリーのコンテストです。これからのジュエリー
業界を担う新しい可能性を持つクリエイターたちの「ジュエリーに秘
めた夢」の実現の場として、世界に向けた日本のジュエリー文化の発
展を求め続けます。



【新人優秀賞】

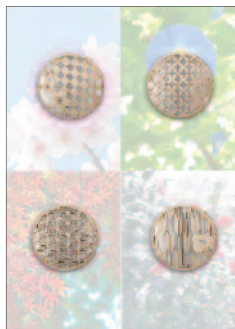
ジュエリーデザイン科 1年次
中里 有沙



【入選】

ジュエリーデザイン科 1年次
笹野 凌河

本コンテストは、日本の自然や四季をイ
メージでき、地球環境への意識やサス
テナビリティの観点からデザインするこ
とを趣旨としています。本コンテストのデザ
イン部門に、本波ゆり子さんが優秀賞を受賞
しました。優秀賞受賞者は、イングの誇る国
家検定一級貴金属装身具製作技能士と共に
商品化に参加する権利を獲得できます。



【デザイン画部門 優秀賞】

ジュエリーデザイン科 2年次 本波 ゆり子

日本伝統工芸として認められて
いる歴史ある工芸品「江戸
べっ甲」。その素材であるタイマイ
(海亀)を使った自由な発想のデザ
インを募集。このコンテストは、都
内の芸大、美大、美術系専門学校の
学生が参加対象となり、東京鼈
甲組合連合会から提供されたべっ
甲の材料を利用した作品を実制作
しました。



【優秀賞】ジュエリーデザイン科 2年次 倉田 香凜

デザイングランプリTOHOKUは、将来性のあるデザイナー育成
の登竜門として、印刷産業界とデザイン関係業界の活性化を支
援することを目的としています。

本コンテストの学生部門に、ビジュアルデザイン科2年生が授業課
題として応募し、審査の結果、石松万実さんが奨励賞を受賞、藤田佳
奈さんが期待賞を獲得しました。他にも5名の学生が入選しました。



【奨励賞】

ビジュアルデザイン科 2年次
石松 万実



【期待賞】

ビジュアルデザイン科 2年次
藤田 佳奈

2018年度「プリントパックde年賀状印刷」で使用・販売する年賀
状テンプレートデザインの募集。1年生は夏休みの課題で様々な
コンペに挑戦しました。本コンテストに応募し、500点以上の作品の
中から黒田彩由美さんの作品が写真挿入部門優秀賞を獲得。さらに、
川原井黄杏さんが入選。黒田さんは他の2点も入選しました。



【優秀賞】

ビジュアルデザイン科 1年次
黒田 彩由美



【入選】

ビジュアルデザイン科 1年次
川原井 黄杏

第14回 『インテリアデザイン
コンペ2017』にて、ス
ペースデザイン科3年生の長坂勇さん
が奨励賞を受賞しました。
プロ・アマチュアを問わず広くか
ら応募があり、今回で2年連続の
「奨励賞」受賞となりました。



【奨励賞】スペースデザイン科 3年次 長坂 勇

この公募展は、隔年で開催されるジュエリー業界の中でも大きなコンペティションです。創造性、造形性を極め、新しいジュエリーの可能性を追求した質の高い作品を公募することで、時代とともに変化し続ける価値観やライフスタイルの変化を見据えた新しいスタイルのジュエリーを提案し続けています。



【入選】

ジュエリーデザイン科 3年次
堀江 綾香



【入選】

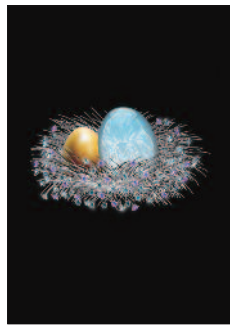
ジュエリーデザイン科 2年次
中里 有沙

応募総数231点から1次審査で100枚が選ばれ、第46回甲府ジュエリーフェアにて展示されました。展示されたデザイン画より、全国の宝飾バイヤーによる投票が行われ、各賞が決定されました。審査・投票の結果、見事、楮 健好さんがグランプリを獲得しました。また、藤田 桃乃さんが部門賞を、8名の学生が入選を果たしました。



【グランプリ】

ジュエリーデザイン科 2年次
楮 健好



【部門賞】

ジュエリーデザイン科 1年次
藤田 桃乃

伝統工芸日本金工展は、国内金属工芸の最高峰ともいわれ、全国の金工作家を対象とした公募展です。学生及び30歳未満の若手金工家の育成のために設けられた [21+ (にじゅういちぶらす) 部門] に、本校ジュエリーデザイン科の16名が入選しました。



【入選作品】

ジュエリーデザイン科 3年次
酒井 寛大



【入選作品】

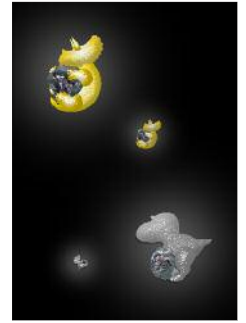
ジュエリーデザイン科 3年次
堀江 綾香

主催は、国内外でジュエリーやダイヤモンド・カラーストーンのルース(裸石)の販売をしている諏訪貿易株式会社。今年の募集アイテムは『メンズのコーディネートされた2アイテム』でした。1次審査を通過した14作品の中から見事、森田礼弥さんが「優秀賞」を受賞しました。また、ジュエリーデザイン科2年より5名の学生が入賞しました。



【優秀賞】

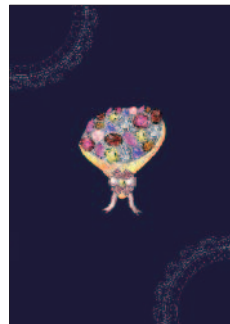
ジュエリーデザイン科 2年次
森田 礼弥



【チャレンジデザイン賞】

ジュエリーデザイン科 2年次
岡田 知子

本コンテストはプロアマ問わず514点の応募作品がありました。この中から上位作品39点を、5名の専門委員による審査委員会の厳正なる審査により、金田はるかさんと笹野凌河さんが入賞しました。



【冠会員賞 - ミュキ賞】

ジュエリーデザイン科 2年次
金田 はるか



【冠会員賞 - スミノ宝石賞】

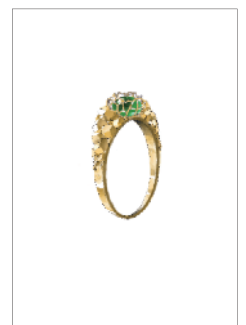
ジュエリーデザイン科 2年次
笹野 凌河

本コンテストは、糸魚川のヒスイ活性化や全国発信を目的に行われています。自由部門のテーマは「よみがえる力」、製品化デザイン部門のテーマは「山の恵み」。コンテストには応募総数341点あり、ジュエリーデザイン科2年生が授業課題として参加しました。



【製品化デザイン部門 製品化デザイン賞】

ジュエリーデザイン科 2年次
永峯 万里桃



【糸魚川ヒスイ商組合賞】

ジュエリーデザイン科 1年次
島川 純奈



●ジュエリーデザイン科は、東京都青梅市にある櫛かんざし美術館、澤乃井酒造、玉堂美術館を見学しました。昼食は雄大な多摩川を眺めながらお豆腐懐石をいただき、古き良き日本文化を堪能した一日でした。日々、彫金机にむかって作業をしている学生達も、自然の中で体を動かすことで、心身ともにリフレッシュすることができたようです。また学年の垣根を超えて学生同士の親睦も深まり、実りの多い研修旅行となりました。

ジュエリーデザイン科 小野 早由里 記



櫛かんざし美術館



●横浜の新旧のホテルと歴史的建造物を見学。横浜市復興計画の一環として渡辺仁氏により設計され1927年に建築されたホテルニューグランドの見学から始まり、三菱みなとみらい技術館、横浜ロイヤルパークホテル、横浜開港記念館、横浜税関、赤レンガ倉庫を見学しました。

昼食はランドマークタワー最上階のホテルビュッフェで港町横浜を一望しながらいただきました。

新旧の建築様式の違いをおおいに学ぶことのできた研修旅行でした。

スペースデザイン科 小澤 拓也 記



三菱みなとみらい技術館



●千葉県佐倉・佐原方面へ。DIC川村記念美術館にてアメリカ現代絵画や彫刻、美しい庭園での自然散策を楽しみ、昼食はヒルトン成田で美味しいビュッフェをいただきました。また、“北総の小江戸”と呼ばれる佐原では風情ある街並みや、街を流れる小川での舟めぐり体験、伊能忠敬旧宅や記念館など歴史的な文化にも触れ、普段味わうことの出来ない時間を過ごすことで学生同士の親睦も深まり、有意義な研修旅行となりました。

ビジュアルデザイン科 田中 晶子 記



DIC川村記念美術館

会計報告・就職

千草会 平成29年度会計報告

入学時に納めて頂きました千草会の終身会費について誌上で会計報告させていただきます。

前年度繰越金	¥5,473,032
収入	
千草会費	¥1,500,000
利息	¥55
計	¥1,500,055
支出	
千草会会報 発行費	¥710,851
千草会賞・記念品	¥58,472
運営費	¥173,839
事務費	¥10,476
通信費	¥328
計	¥953,966
次年度繰越金	¥6,019,121

平成29年度（30年3月卒業生）の内定率は100%となり、卒業生全員が無事就職することができました。

卒業式の時点では、数名の学生が就職活動を継続していましたがその後も粘り強く就職活動を継続した結果、無事就職が決まりました。

3年生は課題と就職活動を並行しながら進めていくため、非常に苦勞の多い一年を過ごしますが、本当によくがんばったと思います。

そして、今年も現3年生は授業と就職活動の両方に苦勞しながらも、懸命に活動しています。

内定をもらった学生、活動継続中の学生、など状況は様々ですが、今までにない経験から何かを学びとっていると感じています。

そしてこの経験が、社会人になった時に彼らを支えてくれる原点になることでしょうか。

就職活動は大変なことも多い反面、社会人になるための準備期間になっていると感じています。

できるだけ一人ひとりの希望に沿った、ここで頑張りたいと思える場所にめぐり逢えるよう、日々サポートをしていきたいと思えます。

就職について

学校案内

- 本学は平成30年11月に創立89年を迎えます。これからも特色あるデザインの専門学校として邁進していく所存でございますので、今後とも入学・就職において、同窓の皆様からのご協力を宜しくお願い致します。

建学の精神「真・善・美」に基づいた専門性と
人間力を養う教育で一人ひとりの可能性を引出します

「個々を大切にせる教育」 1クラス15～20名の個別サポート

「3年制のデザイン専門学校」 就職に直結したカリキュラム

「最高の学習環境」 一人ひとりに専用の作業机、ノートパソコン支給

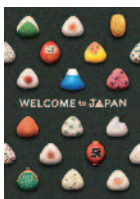
「コンペ実績」 毎年、多数のコンペに入賞実績

「充実した就職サポート」 サポートプログラムが充実、就職率100%を目指します

・ ビジュアルデザイン科 ・

グラフィックデザインとWebデザインの両方を軸に「仕事に直結する授業」を行っています。イラストレーションや動画などの派生講座も充実。「発想力・企画力・コミュニケーション力を鍛える」課題も多数あり、時代のニーズに対応できるスキルが身に付きます。

ビジュアルデザイン科の3年間には、デザインセンスや感性も磨ける、多角的な授業が詰まっています。



・ スペースデザイン科 ・

住宅から、レストラン、ブティックなどの商業施設、快適に暮らすために必要な家具や照明などのインテリアエレメントまで幅広く学び、それぞれのニーズに最適な空間をデザインするスキルを身に付けます。実務に不可欠な構造、構法、材料、設備、法律、施行等の知識も必修科目で学び、卒業と同時に二級建築士の受験が可能。在学中に商業施設士補、商業施設士の資格取得を目指します。



・ ジュエリーデザイン科 ・

ジュエリー制作の基礎技術から本格宝飾造形技術まで一貫したカリキュラムで学びます。段階を追って多くの制作課題をこなすことで、初心者でも確かな技術を身につけることができます。

「手から手へ」技術を伝える距離感を大切に、様々な技法・表現力を積み上げていく教育で、付加価値の高い技術とデザインセンスを併せ持つハイレベルなクリエーターを目指します。



『山脇子女奨学金のご案内』

ご親族が山脇に進学される場合、入学金の一部(5万円)を免除する「山脇子女奨学金」(他の奨学金との併用可)がございます。

※その他「特待生奨学金」(1年次の学費から48万円免除)、推薦奨学金(1年次の授業料半額31万円を免除)などございます。ご親族にデザイン分野への進学を希望される方がおられましたら、山脇を是非ご紹介ください。

※平成31年度に向けて、学校案内書をご希望の方にはご送付致します。

ホームページ アドレス <http://yamawaki.ac.jp/> 山脇ニュースやブログなど見所も沢山あります。

教養講座

『在校生対象の教養講座』

『動と静の美 ～かたなへの探求～』

【講演者】 臼木 良彦 (うすき よしひこ)
刀剣研師 日本美術刀剣保存協会認定 無鑑査
東京都江東区無形民俗文化財指定

【講演内容】 刀剣の歴史や研ぎの作業工程を説明しながら仕事の難しさ、やりがい等をお話しいたします。更に、研ぎの実演をご披露いたします。



コメント ▶ 授業の一環として、学生の人間性を高めるために、社会的教養を身に付けることを目的に、その道のプロに講演いただきます。

お知らせ

2019
90th
Anniversary

学校法人 山脇服飾美術学院 創立90周年記念

日時／2019年11月2日(土)

場所／アルカディア市ヶ谷 (私学会館)

▶ 詳細は次号でお知らせ致します

山脇祭

会期・時間／

平成30年9月7日(金) 13:00~17:00

9月8日(土) 10:00~17:00

9日(日) 10:00~16:00

テーマ／『Dream Travel』

開催場所／山脇美術専門学校内

【コメント】今年の山脇祭は、山脇でしか体験できない非日常的な夢の空間を創り上げました。飲食やオリジナルグッズの販売、来場者が参加できるワークショップやイベント、学生作品展示もあります。楽しい夢の旅へ是非お越しください!

SEBIT2018 東京都専門学校 アート&デザイン展

会期／平成31年2月21日(木)

~26日(火)

時間／9:30~17:30

開催場所／東京都美術館

(ロビー階第1・2・3展示室)

【コメント】この展覧会では東京都のデザイン&アート系専門学校の学生作品が展示されます。山脇3学科の作品はもちろん、他校の力作も一堂に展示されます。見応えある展覧会です。是非とも、皆さまのご来場をお待ちしています。

卒業・進級制作展

会期／平成31年3月2日(土)

~6日(水)

時間／平日11:00~19:00

土日11:00~17:00

開催場所／山脇ギャラリー

【コメント】3年生は卒業制作を展示、1・2年生は1年間の集大成として進級制作の作品を展示します。学生たちの力のこもった作品を是非ご覧いただき、アドバイス・コメントを宜しくお願いします。皆さまお誘い合わせの上ご来場下さい。

山脇ギャラリーより《これからの展示予定(一部)》

●第31回 バスケタリー展

平成30年10月11日(木)~10月17日(水)

●ジュエリーデザイン科25周年展

平成30年11月24日(土)~12月1日(土)

●第30回 全日本高校デザイン・イラスト展

平成30年11月15日(木)~11月19日(月)

●ムササ美 2019

平成31年1月31日(木)~2月2日(土)

※通常の開館時間は11:00~18:00迄ですが、初日と最終日は時間が異なる場合がありますのでお問い合わせ下さい。TEL03-3264-4027
《ご案内》作品発表の場所をお探しの方は、山脇ギャラリーをご利用されてはいかがでしょうか。基本1単位(6日間)120,000円(税抜)その他、備品使用料があります。会員の方からのご連絡をお待ちしております。

講師・教職員異動報告

▼ 退任された先生

▼ 就任された先生

内海 純	ビジジュアルデザイン科
亀井 伸二	ビジジュアルデザイン科
左 知子	スペースデザイン科
田口 史樹	ジュエリーデザイン科
河原 康雄	スペースデザイン科
清水 裕子	スペースデザイン科
恩田 貴之	ジュエリーデザイン科
田中 晶子	ビジジュアルデザイン科
小澤 拓也	スペースデザイン科
小野早由里	ジュエリーデザイン科

千草会役員

会長
副会長

監事

学内代表幹事
幹事

学内委員

百田富美子	コスチュームデザイン科
須藤加代子	ハンディクラフト研究科
篠原美代子	コスチュームデザイン科
山崎 和美	服飾科
松橋 恭子	リビングアート科
福澤 清子	専任スペースデザイン科
木下 朋美	ビジジュアルデザイン科
鈴木 慧美	ビジジュアルデザイン科
川原 緑蘭	ビジジュアルデザイン科
土肥 紗久良	スペースデザイン科
山崎 桃子	スペースデザイン科
長坂 幸脩	ジュエリーデザイン科
北澤 幸脩	ジュエリーデザイン科
馬場 栄里	ジュエリーデザイン科
酒井 寛人	ジュエリーデザイン科
篠原 寛人	専任
桐井 英明	専任
杉山 千尋	専任ジュエリーデザイン科
大島 和子	ビジジュアルデザイン科
根岸 美穂	ビジジュアルデザイン科
田中 晶子	ビジジュアルデザイン科
小澤 拓也	スペースデザイン科
小野早由里	ジュエリーデザイン科